

「上宮津 AtoZ」

発行日 2020年3月10日

文 AtoZ作成委員

写真 大西真由美
奥野英恵
粉川紀子
宮本弘明
AtoZ作成委員

題字 関野里奈

協力 塩見直紀（福知山公立大学特任准教授）
上宮津地区公民館
上宮津21夢会議

AtoZ 秋鹿陽一・秋山俊朗・粉川正太郎
作成委員 粉川宗久・関野 祐・細見町子・宮本哲雄

発行 上宮津地域会議
〒626-0037 京都府宮津市小田 231
TEL0772-22-2415

Facebook 上宮津 AtoZ

Q 検索



AtoZ

はじめに

私たちは、上宮津 21 夢会議、上宮津地域会議を中心に地域振興と地域のお宝発見を目指し様々な活動を続けてきました。より良い魅力を探す活動の中で、参加された来訪者の皆様から地域の日常の素晴らしさと、他にない自然の素晴らしさを教わり、この何気ない日常を地域のお宝として皆さんにお伝えしようと考えました。この冊子を多くの皆さんがご覧になり、少しでも上宮津の魅力に触れていただくことができれば幸いです。

春



サツキ植栽



田植え



上宮津祭り

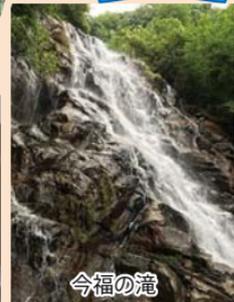


盆踊り大会

夏



そうめん流し



今福の滝

秋



かみやづ寄席



敬老会



時の響きコンサート

冬



雲海



丹鉄「あおまつ」



新春お楽しみ会

contents

- A Atagojinja
愛宕神社・上宮津祭り
- B Bird
上宮津のシンボル、はばたく森
- C Community
コミュニティ
- D Dream
上宮津21 夢会議
- E Ekiden
上宮津地区駅伝競走大会
- F Furukoko
古心・薬師さん
- G Gold
金山黄銅鉱坑道跡
- H House
上宮津地区公民館
- I Inishie
古の道
- J Judge
山論記念日
- K Karakawa
辛皮(ホタルとカジカ夢酔い祭り)
- L Life
生活・営み
- M Mountain
城山

- N Nougyoubunkasai
農業文化祭
- O Ootegawa
大手川
- P Person
多士済々
- Q Question
蛇網(蛇を祀るのは?)・
今福の滝(名瀑の不思議)
- R Rindou
杉山林道・大杉
- S Salon·de·kamiyadu
サロン・ド・カミヤツ
- T Temple
曹洞宗 大圓山 盛林寺
- U Unkai
雲海とカフェ
- V View
美しい里山の風景
- W Work
仕事・生業
- X X
交流
- Y Young
若者
- Z Zentai·Zenkei
全体・全景



Atagojinja



Bird



Community

江戸時代から続く上宮津祭りは4月の第3土・日に行われます。一番の見どころは、日曜朝、小田関ヶ淵の山頂355mに座する村の総鎮守愛宕神社に、各地区の神楽、太刀振り・太鼓、奴計6組の芸能が集結し、神事後奉納されることです。未明に出発、険しい山道を登り、明け方6時、清冽な空気の中、五穀豊穡を願って厳かな中にも賑やかに執り行われます。

愛宕神社・上宮津祭り

杉山の樹林が織りなす「大鳩」は冬将軍に保護色となる

杉山の中腹に、杉群が鳩の形をしてランドマークのように息づいています。その鳩は「見返り美人」のように振り向いて、天の橋立を眺めています。まわりの木々が、春には早緑色、秋には黄色・紅色になるため、鳩の常緑との対比が見事です。冬には、杉山一帯が雪に覆われ、鳩も雪化粧します。

上宮津のシンボル、はばたく森

指先に神経とがらせワラを編む 棧俵づくりは健康づくり

平成27年3月に閉校となった上宮津小学校の校舎で、地域の仲間達が棧俵を作っています。8月16日の宮津灯籠流し花火大会で棧俵に灯籠を載せて海に流します。このコミュニティ活動は健康づくりにもなりますが、大切な母校の利活用が主な目的です。令和元年には、「学校ミュージアム」が行われました。

コミュニティ



D

Dream



E

Ekiden



F

Furukoko



G

Gold



H

House



I

Inishie

上宮津 21 夢会議は、2002年につくられた「上宮津地区振興計画」を、みんなで力を合わせて実現している。こうと翌年3月にボランティア団体として誕生しました。地区内外約100名の会員が「夢とロマンを語りながら人々のふれあいと連携を大切に、自ら楽しむ」を合言葉に様々な活動に取り組み、地域の元気づくりを奮闘しています。

上宮津21夢会議

昭和59年秋、しばらく途絶えていた上宮津縦断駅伝を形を変えて復活したのが始まり。翌年から6月開催になり、現在宮津市内で続けられている唯一の駅伝大会です。近年は正式区間で競う地区内自治会チームは減り、短い距離を老若男女で楽しくつなぐオープン参加が増えていきます。地区外から参加されるチームもあり、貴重なスポーツ交流イベントになっています。

上宮津地区駅伝競走大会

古き心は良き心「古心（ふるここ）」美しい響きの地名です。古心には薬師如来が安置されています。そこには耳の形の石も祀られており、耳の病気に効くと言われ、毎年3月7日に信徒が集まり法要を行っています。また1kmほど入った所には、岩から湧き出した水が滝のように流れ落ちる、とても神秘的な空間があります。

古心・薬師さん

2016年に上宮津21夢会議が探索し、長らく眠っていた産業遺産ともいべき金山坑道跡を発見しました。小田金山地区の平野山と蛭子の2か所にあり、どちらも平地から少し入った山の中腹に残っています。明治から大正の頃、黄銅鉱石を採掘し四国の精錬所に運んでいたとのことですが詳細は不明です。

金山黄銅鉱坑道跡

昭和33年頃に加悦町から移築された上宮津地区公民館。元々の竣工は戦前と伝えられています。宮津市内の木造公民館としては最大の面積を有します。質の良い木材が用いられ文化的価値も高い建物です。一部が改造され今も上宮津の拠点として現役で使われています。夜の催しで玄関や二階の窓際が提灯で飾られた外観の風情は一見の価値があります。

上宮津地区公民館

丹後から丹波、京への古道なる元普甲道。また今普甲道。元普甲道は奈良時代に、今普甲道は江戸時代に開かれた、丹後宮津から丹波福知山に至る大江山越えの街道です。当時一帯にあった普甲寺の名前がつけられました。今普甲道の新兵衛屋敷跡や付近の石畳の道は、いにしへの趣を残す魅力的な場所です。

古の道

いにしえ



Judge



Karakawa



Life



Mountain



Nougyubunkasai



Ootegawa

山論で取り戻し山
守る里

貞享5年(1688)7月
4日、幕府に直訴して
いた隣藩田辺領大股
村(現舞鶴市)との30
年近くに及ぶ山境争
いに裁定が下され上
宮津村が勝訴しまし
た。村は盛林寺に記
念碑を立て山論記念
日を設け、昭和30年
代以降は毎年8月8
日に、先輩の努力と
資金援助を受けた衣
川氏への恩義に報謝
する法要を現在に至
るまで続けています。

山論記念日

辛くないのに、辛皮
センベイ

カンラン岩^{かい}の峽の棚田
や辛皮にきゆるきゆる
と鳴く河鹿蛙よ

辛皮地区は元普甲道
の通り道に位置し、
杉山から流れる河川
の源流部にある上宮
津の原風景を思わせ
る地区です。棚田に広
がる稲は、橄欖岩^{かんらん}から
湧く真水をいっぱい
吸って、秋にはおしい
お米へと育ちます。
辛皮地区では平成16
年から毎年6月に「ホ
タルとカジカ夢酔い
祭り」が開催されます。

辛皮^{からかわ} (ホタルとカジカ夢酔い祭り)

蕎麦灰からなる蒟蒻^{コンニャク}
作り

さあ勢いよく投げま
しょう 味噌作り

- ①「生命力に溢れた
人尽くしのかみやづ」
明るくて、楽しむこと
が大好きな人が多い
仲間を受け入れます。
- ②「土に根差した暮ら
しを味わう催し、やっ
ていきます」米、餅、
蕎麦、味噌、蒟蒻。
土と繋がる、季節に
合わせた生活があり
ます。

生活・営み

宮津湾が一望
城山眺望

城山は、すり鉢を伏
せたような形をした、
地域の人達にとって
は馴染みのある身近
な山です。標高は98
mで、名前の通り至
る所に山城の跡が見
られ、上宮津城、喜多
城ともいわれます。
一色氏領国時代の小
倉播磨守が最後の城
主です。本丸跡の山
頂からは宮津湾が一
望できます。

城山

上宮津には、駅伝大
会・敬老会・運動会・
農業文化祭などたく
さんの催しがありま
す。中でも11月の農
業文化祭は地元の農
産物を販売したり、
地域の人たちの趣味
や特技の発表の場と
して文芸作品や絵・
写真・工芸品等が展
示されます。また、
グラウンドゴルフに
ソフトボールやビー
チボールバレーの試
合もある「盛りだく
さんな文化祭」です。

農業文化祭

五月なる大手川には
群れをなし 銀鱗映ゆ
る稚鮎の遡上

「♪大手川から湧い
てくる…♪」で始ま
る旧上宮津小学校の
校歌にも唱われた、
地元自慢の清流です。
5月中旬から9月下
旬までは、天然鮎を
狙う釣り人を見かけ
ます。一日に30匹を
釣り上げる地元名人
もいます。

大手川



P

Person



Q

Question



R

Rindou



S

Salon・de・kamiyadu



T

Temple



U

Unkai

住人十色 みんなちがってみんないい
上宮津には特技や才能を持った個性豊かな人たちがいます。杉山がライフワークの生き字引、木版画と話芸の達人、田畑を荒らす有害獣の捕獲を一手に担う猟師、陶芸をはじめ古民家再生や蒔菫づくりもする多彩な活動人、樹木伐採の名人でキノコ博士、自ら演じる創作紙芝居作家などなど枚挙にいとまがありません。

多士済々

①毎年1月19日に今福で行われる蛇網祭りは、もち米の藁で長さ約6mの大蛇を作って村中を担いで回り、住民の頭を噛んで無病息災を祈る奇祭です。
②今福の滝は大小合わせて7段あります。江戸時代中期に書かれた「丹後與佐海名勝略記」に紹介されており、古くからこの地方の名瀑として親しまれてきました。平成25年には「京都府景観資産」に登録されました。

蛇網(蛇を祀るのは?)・今福の滝(名瀑の不思議)

いまぶく

マンモス、千手観音、バンザイと次々現れる大杉の群れ
杉山には樹齢300年を超える大杉群があり、現在確認されているだけでも70本以上になります。地元小学生を始め多くの仲間達が、ワッと現れる杉の形状から連想して命名し、標柱も傍に設置されています。林道を散策しながら楽しく大杉を鑑賞できます。

杉山林道・大杉

みんな集まれ!
サロン・ド・カミヤツ
平成25年、上宮津の老若男女を対象に、楽しく自由に集まれる場所づくりとして、女性が中心になって活動が始まりました。3月、6月、12月は送迎付で、料理好きが集まって手づくり料理を提供します。その他の月は送迎なしのオープンサロンとして、講師を招いての話、体操、蒔菫作り、陶芸教室など工夫を重ねてほぼ毎月20日に開催されています。

サロン・ド・カミヤツ

盛林寺は、細川家の庇護を受け、1603年に宮津市大久保地内から現在地に移転されました。多くの文化財等が保全されている名刹です。裏山には明智光秀の首塚があります。首塚の建立者と時期は不明ですが、石塔には光秀の討死した「天正壬午6月13日」(1582年)が刻んであります。娘の玉(ガラシャ)や細川藤孝(幽斎)・忠興親子は、大久保の地で、墓前に手を合わせる機会があったかも知れません。

曹洞宗大圓山盛林寺

山並みが白い絨毯で覆われる大江山の美しい雲海
11月～3月にかけて大江山で雲海を見ることができます。それは幻想的な景色で、遠方から訪れる写真家も少なくありません。条件が良ければ、午前9時頃まで見ることができます。年に数回、上宮津21夢会議みらい部会が旧大江山スキー場にて雲海カフェを催します。雲海を見ながらのコーヒーは格別です。

雲海とカフェ



V

View



W

Work



X

X



Y

Young



Z

Zentai・Zenkei

- ①大江山連峰トレイルコースにある航空管制塔すぐ近くから、加悦谷平野、宮津市街地、宮津湾、栗田湾、遠くは丹後半島が一望できます。
- ②これぞ日本のふるさと、中の茶屋の田園風景。一組の高齢者夫婦で美しい里山が維持されています。
- ③小香河地区の丘から見る上宮津谷。他にも美しいところが沢山あります。皆さんのビューポイントを探してみてください。

美しい里山の風景

この村 愉快的な働き者が揃う上宮津だけど、働き場となると少ないのが現実です。そんな中、縁あってこの地に来た仲間と、10年以上前に手づくり弁当「箱」が開業、そして最近おにぎりカフェ「musubi」がオープンしました。就職じゃなくて起業していく若手たちに期待大です。

仕事・生業

なりわい

月に一度の会議という名の飲み会
「自然と元気と合力が宝なんだで上宮津の」上宮津地域会議の合言葉です。地域活動では、仲間達がそれぞれ得意分野の仕事を受け持ち、何でもこなします。大きなパワーが売ります。

交流

過疎高齢化が進行している中、近年上宮津に30～40代の10家族が移り住みました。2018年には、上宮津21夢会議に、新しく「ターン・Uターン者」そして地元の次世代メンバーが加わった、若者だけの「みらい部会」が発足しました。これまでに地域の子供達を対象にした田植え及び稲刈り体験や築100年を超える民家での音楽コンサートを催すなど積極的な活動を始めています。

若者

最先端！
連絡網はメール配信
①神(かみ)の木々
みどり豊けきみ里なり
八百(やほ)に栄えむ
つつがなくあれ
いつまでも平穏で安全なふるさとでありますように。
②上宮津は海の京都
いえいえ 森と海の京都です
スノーシューに
遠く橋立眺むれば
あれ、お隣りに猿捕茨
(サルトリイバラ)が
杉山から眺める宮津湾は見事です。四季おりおりの風景を楽しめます。

全体・全景



かみやづアラカルト

あとがき

上宮津21夢会議及び地元有志のご協力をいただきながら、半年間の作業を経てできました。上宮津のたくさんの魅力を紹介しています。「上宮津」の正式名は「かみやづ」ですが、言いやすいことから「かみやづ」として一般に親しまれていますので、タイトルに採用しました。この「かみやづAtoZ」の内容に触れていたいただき、上宮津を好きになっていただけたら何よりうれしいです。

AtoZ スポット一覧

- A 愛宕神社・上宮津祭り
- B はばたく森
- C コミュニティ
- F 古心・葉師さん
- G 金山黄銅鉱坑道跡
- H 上宮津地区公民館

- I 古の道
- J 山論記念日
- K 辛皮
- M 城山
- N 農業文化祭
- O 大手川
- Q 蛇網・今福の滝

- R 杉山林道・大杉
- T 盛林寺
- U 雲海とカフェ
- V 美しい里山の風景
- V1 大江山
- V2 中の茶屋
- V3 小香河

AtoZ マップ



- JR・丹鉄をご利用の場合**
- 京都駅から宮津駅まで特急で約120分
 - 大阪駅から宮津駅まで特急で約130分
 - 宮津駅から喜多駅まで約6分

- 高速バスをご利用の場合**
- 京都駅から宮津駅まで約120分
 - 大阪駅から宮津駅まで約150分

- 車をご利用の場合**
- 京都から(京都縦貫道)
 - 大阪から(中国・舞鶴若狭・京都縦貫道)
 - 神戸から(六甲北道・中国・舞鶴若狭・京都縦貫道)